

# 2005年 新年のごあいさつ

# 新年

## 明けまして おめでとらうござんす



大崎町長  
東 靖 弘

新年明けましておめでとらうござんす。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成十七年の年頭に当たり、私たちの郷土・大崎町の発展と住民の一人ひとりが健康でよい年でありますよう心からお祈りいたします。

また、住民の皆様にはかねてから町政に対する絶大なご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年一年間の本町の情勢を振り返りますと、五月十六日に住民の直接請求により『大崎町の合併についての意思を問う住民投票』が実施されました。この結果、皆様ご存知のとおり『単独』が選択されました。本町といたしましては、この結果を尊重し、住民

の皆様からの行財政改革に対する提言や意見の募集、公募と選任による住民代表からなる行政改革調査専門委員会の設置、町職員で構成する行政改革推進本部の設置を行財政改革推進体系の柱とし、これらの委員会等で出された様々な立場からの意見等をもとに、特別職の報酬削減など各種の行財政改革に取り組んでまいります。

次に、私が公約の一つとして掲げておりました「高齢者が生涯現役で元気に過ごせるための生きがいづくり」を支援する『マスターズプロジェクト推進事業』を始めました。これは、ますます進行する高齢化に伴い、医療費等の増大が予想されますが、これらを抑制するために、本町に合った介護予防策を講じる必要があると思われまふ。本町といたしましては、専門的知識を有した鹿屋体育大学と連携し、介護予防教室の参加者を対象に運動指導や体力測定を行いながら、これからの介護予防事業の基礎データを収集・分析してお

ります。

つづきまして、これも公約の一つであります商店街の活性化を図ることを目的としたアクアプロジェクトについてでございます。平成十五・十六年度の二か年にわたり、町商工会が中心となり、『うるおいの街整備事業』に取り組んでおりましたが、三文字地区の空き店舗を借り上げ、拠点機能整備として魅力あるコミュニティ施設の設置が行われることになっております。このほか『歳の市』や『おおさき夏祭り花火大会』等、商店街の活性化を目的とした事業が開催されましたが、町といたしましては、担当職員やプロジェクトメンバーの出席など協力・支援をしております。

次に、定住促進施策の一環として取り組んでおりました『定期借地権付分譲マンション事業』でございますが、関係各位のご尽力により完成いたしました。民間資本を活用した本事業は、県内はもとより九州で初めての事業でございますが、定住促進施策としての効果と、厳しい財政状況下にお

ける社会資本整備の一手法として非常に有効な政策であると考えられます。

次は、町立保育所の民間委託についてでございますが、近年、保育ニーズが多様化し、柔軟な対応が必要とされており、昨年四月から菱田保育所の運営を民間に移管いたしました。前述の行財政改革とも関連いたしますが、民間の経営手法が効率的であると思われるものについては、民間への移管を進める方針でございます。

最後に本町を取り巻く情勢は、三位一体改革の状況が先行き不透明な中、非常に厳しいものがございますが、本町が持つ資源や魅力を生かし、基本理念である『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』を創りあげるために、さらなる努力を重ねてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

この一年が、皆様にとってすばらしい年になりますよう心からお祈り申し上げます、年頭のごあいさつといたします。